

日韓両国の交通の要所に最新型デジタルサイネージを設置、情報配信

—— ストリートメディア、ソフトバンク クリエイティブの日韓共同事業に協力 ——

2010年8月5日

ストリートメディア株式会社(本社・東京都千代田区、代表取締役社長・大森洋三/以下ストリートメディア社と表記)は、このほど合意に至ったソフトバンク クリエイティブ株式会社と、韓国のデジタルサイネージ事業者である(以下 Finger Touch社)、およびその親会社である Tubecomm Co., Ltd(以下 Tubecomm社)と、日本と韓国におけるデジタルサイネージの共同事業の運営等について、協力し推進して行くことになりました。

今回の共同事業では、日韓両国内のそれぞれの交通の要所を中心に、最新型デジタルサイネージ端末を設置し、周辺地図、ニュースなどのさまざまな情報コンテンツや広告をネットワーク経由で配信していく予定です。

ストリートメディア株式会社はソフトバンクグループでデジタルサイネージ事業を行っている COMEL 株式会社と共に、福岡県福岡市内に設置した約 500 台のデジタルサイネージ端末による「福岡街メディア」を通じてコンテンツ企画力や運用ノウハウを蓄積しております。(当デジタルサイネージ運用事業者であるソフトバンククリエイティブから受託)

また、の持つ、韓国ソウルメトロの地下鉄駅に設置されている約 900 台のデジタルサイネージ端末での豊富な運用実績から、今後の共同事業にこれらの実績や経験を有効に活用していきます。

本共同事業において、ストリートメディア株式会社と映像コンテンツ配信サービス事業者の株式会社フォーセットの協力のもと、ソフトバンク クリエイティブと Finger Touch 社、Tubecomm 社は、それぞれの国でのデジタルサイネージ端末の設置場所確保と端末設置、コンテンツの制作・調達などを行いながら、共同で広告商品の企画立案や営業、多言語対応コンテンツの開発も行っていく予定です。

さらに、タッチパネルで日本語から韓国語などに切り替わる機能を搭載した多言語対応の新端末を設置し、海外からの観光客に自国語での情報を提供するなど、デジタルサイネージの新しい利用方法を企画・開発していきます。また、日本と韓国のほかに、中国などを含むアジア地域への共同事業の展開も計画していきます。

「福岡街メディア」とは、福岡市内を中心に大型液晶ディスプレイでバラエティ豊かな情報をお知らせするメディアです。

※本件のソフトバンク クリエイティブ社のニュースリリース

http://www.softbankcr.co.jp/ja/news/press/2010/0802_002366/

■お問い合わせ先

ストリートメディア株式会社 担当：廣瀬 純一(ひろせじゅんいち)

E-mail : info@streetmedia.co.jp

URL : <http://streetmedia.co.jp>